

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
国際関係論	NLA11_018	選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
村上 雅博	教員控室	kango	課題シート内のコメント欄にて対応		
授業の目的・概要	<p>日本と国際社会(国連)および発展途上国との関係性⇔相互依存性に基づいた国際関係は、平和国家の生命線である。平和を希求する日本の外交政策の問題を抽出して解決に向けた課題を考え、国際協力の役割と意義を明らかにすることから、国際社会における日本の未来に向けた平和構築の視点や論点を自身の意見や論点をともに議論することができる能力を身につけていくことが本講義の目的である。</p> <p>日本の国際(外交)関係の要点となっている主要なテーマである、戦争(紛争)と平和、貧困・差別・格差・不平等・不公平、人権、国際連合、国連憲章、世界保健機構(WHO-UHC)、持続可能な開発目標(SDGs)の日本国憲法、国際貢献、国際協力(ODA-NGO-NPO)、人間の安全保障、テロ問題、等についての国際社会の歴史認識を踏まえて解説し、知識力に加えて考察力や思考力を高めていく。現在進行形の二大トピックである「ロシアのウクライナ軍事侵襲」とイスラエル・ガザ(パレスチナ)紛争問題をはじめとして、新型コロナウイルス(COVID-19)禍問題で直面したばかりの公衆衛生と生命倫理にも接点をもつ授業なので、人の命と健康に直接に係わる医師および看護師や保健師の職業倫理に係わる基本的な人権の問題にも着目する。ヒボクラテス、ナイチンゲール、デュナン、ゼンメルワイス等の医療倫理の原点に係わる事例を含めて解説するので、人間と社会の国際における基本的な生死にかかわる人権と安全保障の問題を見出し解決するための課題を見極める力をつけていく。</p>				
授業形式・方法	<p>対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート</p> <p>遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)</p> <p>講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> ゲル・ワーク <input type="checkbox"/> アレクシテーション <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>				
学習上の助言	<p>オリジナルな講義テキストの PPT-PDF ファイル 3点が事前に Teams にて配信される。</p> <p>⇒①講義テキスト: PPT、③知識問題課題演習(穴あけ形式問題 10問): WORD、④ 知識問(10題) 解答+コメント・質問シート(WORD)が事前に、②キーワード演習シート(プリント)が当日に配布される。</p> <p>→質問やコメント等のオープンな議論を歓迎するが、討論等に慣れていない方は、上記④WORD シートの最下段の自由意見をツイート形式で活用することが出来る(理由や内容レベルにより成績評価対象の一部に組み込まれる)。</p>				
教科書	指定しない。オリジナルな参考資料(講義用の PPT-PDF file)を事前に Teams で配信。				
参考書	教科書・参考書に相当する配布テキストは全て無料で Internet-Web に公開されています。出展の URL: http:// を明記した小テスト(穴あけ形式の知識問題)の参考資料 ③(WORD)を Teams で配信。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	平和国家の存続基盤となる国際関係のポイントになる知識を修得し、平和・外交と国際協力の役割と意義を理解すると共に、生命倫理にも係わる問題を抽出して解決につながる課題について考える力を身につけ、論理的にも自身の論点を主張・説明することができる。	HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)			
②	戦争・紛争と平和・外交の根源的な問題と課題および歴史認識にかかわる深いテーマについて、人間の命に直接に係わる専門性の高い職業人としての一般教養力と自身の根源的な思考能力(理解+考える力)を高めていくことができる。	HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)			
③	コロナ(COVID-19)禍や「ロシアのウクライナ軍事侵襲」と「イスラエル・ガザ(パレスチナ)紛争」等の、現在進行形の世界の最前線の課題にもアンテナを延ばして、不安定・不確実性を増している国際関係の現在の問題や課題にもチャレンジ出来る。	HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	プロローグ: 今、世界は1「世界百人村」から⇒幸福とは何か?⇔貧困・差別・格差・不平等と紛争・戦争および人間の安全保障の課題 ⇔ 人間は何故、「争い」・「闘争」のか?	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
2	[A-1] 国際社会と国連 [UN]: 世界平和と日本国憲法の原点は国連憲章⇔ロシアのウクライナ侵襲問題で機能していない国連の根本的な難問⇒安全保障の問題と課題	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
3	[A-2] 国際社会と国連 [UN]: 貧困と格差の問題に取り組む人間開発(UNDP) ⇔ 戦争・紛争+テロの脅威から人々の命と生活を守る⇒人間の安全保障	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
4	[A-3] 国際社会と国連 [UN]: ミレニアム開発目標 [MDGs] から持続的開発目標 [SDGs] へ ⇒ 基本コンセプト: 「だれ一人とり残さないために」⇒UHC (Universal Health Coverage)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
5	[B-1] 今日の国際関係の背景[1]: 歴史認識問題: 「イスラエル・ガザ(パレスチナ)紛争」の原点は民族ではなく宗教(ユダヤ教 v.s イスラム教)で紀元前の旧約聖書に遡る⇔世界の火薬庫「中東」紛争の根源	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
6	[B-2] 今日の国際関係の背景[2]: 紀元後・新約聖書の世界: 世界帝国の宗教対立: キリスト教 v.s イスラーム帝国: 十字軍遠征(1096-1270)とオスマン帝国(1299-1922)との聖戦と覇権抗争	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
7	[B-3] 今日の国際関係の背景[3]: 今日のロシア・ウクライナ地域紛争の歴史的背景と第一次世界大戦の原型となった露・土戦争(1768-1918)とロシア南下政策 ⇒ <ナイチンゲールがクリミア戦線に赴いた動機と国際関係>	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
8	[B-4] 今日の国際関係の背景[4]: 戦争の世紀の火薬庫・中東: 第一次大戦(シオニズム+イギリスの三枚舌外交)、第二次大戦⇒(中東戦争+聖戦: テロとの戦い) ⇒ 「イスラエル・ガザ戦争」	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
9	[C-1] 日本の外交の目的と意義: 平和外交の原点は国連憲章と日本国憲法: 世界で唯一の平和憲法 ⇔ 「誰」を助けるのが正義か? 救命ボートの倫理(ハーディン)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

10	[C-2] 日本の外交の目的と意義: 国際社会の平和を築き守る日本の国際協力のエンジンは政府開発援助(ODA)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4				
11	[C-3] 日本の外交の目的と意義: 人間の安全保障⇔基本的人権から平和外交の目的と意義を再考する	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4				
12	[D-1] 国境を超えるパンデミックと公衆衛生: 世界の歴史を変えた戦争と深く係わる感染症・疫病と医学・看護学の役割	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4				
13	[D-2] 国境を超えるパンデミックと公衆衛生: クリミア戦争と感染症対策から生まれた看護学と公衆衛生学: ナイチンゲールと国際赤十字社を創設したデュナンの業績と社会的な背景	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4				
14	[D-3] 国境を超えるパンデミックと公衆衛生: 先進国と発展途上国が共存し生き残るための国際社会のワクチン国際協調配分計画(COVAX)の意義と課題	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4				
15	エビローク: 日本の国際協力は、なぜ必要か?	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4				
試	定期試験: 小論文<800文字>: 40分間 + 知識問<50題>: 40分間							
達成度評価								
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		60	30	5	4	1	100	
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30	
	思考・推論・創造する力	20	10	1	0	0	31	
	協調性・リーダーシップ	0	0	1	1	0	2	
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	0	11	
	コミュニケーション力	0	0	1	1	0	2	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	1	1	1	3	
問題を発見・解決する力		10	10	0	1	0	21	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	キーワードの穴埋め問題形式で小テスト(50問)を実施<課題演習シート+PPTファイルから出題>し、基本的な知識修得の達成レベルを最終的にチェック(評価)する。⇒配点比率は30%				知識問題テストは絶対評価で採点し、論文テストは点数ソート(S,A,B,C)を加えて評価し、総合的な成績表を事務宛てに通知する。	
	②	✓						
	③	✓	論文試験(800文字)では、「問題」の所在を抽出し、その問題を解決するための「課題」について考えて目的や必要性や意義を理解して総合的に考察する力などの程度についてきているかを評価する。演習・課題シート[1-15]の質問・コメントを考慮して出題⇒配点比率は30%					
レポート	①	✓	授業終了時にキーワード演習シート②WORD 配布プリントに自身が重要と考える順でキーワードを3つ選びシートに記載し提出する。				Teams/Word の課題演習シート②を毎回プリントアウトして採点し講評を加えたコピーを各位に返却。適時にコメント欄等に講評を加える。	
	②	✓	Teams(資料: ファイル③+④)にアップロードされている「知識問題集: ③WORD)」と「知識問題解答+コメント・質問シート: ④WORD)」に取り組み、講義当日の24:00までWORDファイル④をTeamsにUploadする。⇒課題演習の配点比率は30%					
	③	✓						
成果発表	①	✓	質疑や討論のための時間をとりますが、挙手をして話す・議論することが苦手な方と発言時間が足らなかった方は当日24:00までに提出する④課題演習シート(WORD)の最下段にある質問・コメント等自由覧を活用できる。(上位1~2割のみS評価として成績評価対象)⇒配点比率は5%				適時にコメント欄等に講評を加える。	
	②	✓						
	③	✓						
ポートフォリオ	①	✓	授業の展開段階における成長過程を質疑・討議や Teams の質問・コメントや課題演習の内容から評価。←授業への参加姿勢や質疑応答および課題演習レポート(WORD)への取り組み内容(キーワード所感とメモ覧を活用した質問やコメント等)のレベルを含めて総合的にチェック・評価する。⇒配点比率は4%				適時にコメント欄等に講評を加える。	
	②	✓						
	③	✓						
その他	①	✓	不確実性が残る感染症(コロナウイルス等)対策と授業の展開・進展の相互関連性を適時に判断する。⇒配点比率は1%				社会的な必然性があれば適時にコメント欄等に状況説明を加えるか最後に講評する。	
	②	✓						
	③	✓						

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教 員 の 実 務 経 験	日本工営（株）国際事業部・コーエイ総合研究所（1976～1997） 高知工科大学（高知県立大学）・環境理工学部・教授（1997～2015）
実 践 的 授 業 の 内 容	国際協力・国際開発 地域紛争予防と平和構築 人間・社会倫理
そ の 他	<p>★2025年度授業の特色</p> <p>コロナウイルス感染の認識と人間の記憶に甘さがあつたためか、残念ながら After コロナではなく With コロナで注意を喚起しながら対応せざるを得ない状況を経て今日に至っています。2022年2月にはロシア・ウクライナ紛争、2023年10月には“イスラエル・ガザ（パレスチナ）紛争”が勃発し、コロナ禍に加えて悲劇的な混迷と戦闘長期化が続いています。人間の安全保障に加えてエネルギーや食糧や地域の安全保障にも大きな影響が出ている不透明で不確実な時代が続き、日本も混迷する国際社会の関係性やガザやウクライナの戦後復興の可能性にも深く巻き込まれてきます。そこで、ウイルス(COVID-19)と感染症や公衆衛生の問題に加えて“ロシアのウクライナ軍事侵攻”と“イスラエル・ガザ（パレスチナ）紛争”に関係する歴史的な国際関係の変遷や人間や地域の安全保障問題に対する内容を強化しています。</p>